

ガバナー公式訪問

第2620地区ガバナー 飯田祥雄様

沼津北ロータリークラブと沼津西ロータリークラブの皆様こんにちは。今日は静岡第3分区ガバナー補佐であり、2620地区ガバナーノミニーでもある積惟貞様と一緒に伺いました。積さんからは、両クラブの「活動計画の指標」を、又、両クラブからは「事業計画書」戴いて、クラブの現況を少し勉強してきました。



沼津北ロータリークラブはパストガバナーの道部乗様がお在籍であり、第50代の山本倫弘会長を中心に男性ばかり54人、平均61.7歳の名門クラブです。山本倫弘会長は事業計画のご挨拶で、ジョン・ケニーRI会長の今年度のテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と、ポール・ハリスが寛容と相互理解と親交に触れて語った言葉を引合いにして、幅広い交友と親しい交わりを目標に「ロータリーを楽しもう」と書いています。私も同感です。

年齢構成を拝見しますと、最高齢80歳、最年少43歳、80歳代1名、70歳代16名、60歳代12名、50歳代14名、40歳代10名と理想的な状態と思われる。しかし在籍3年未満の会員が17名で、その多くが大きい組織の支店長さん達と想定し、加えて、現会員の内会長経験者が15名程居る事まで考えると、永くクラブを安定して維持するためには、合計60名程にまで増強するのが本当の姿だと思います。

沼津西ロータリークラブは、創立が1991年5月です。井上武雄会長は第19代の会長であり、男性23名、女性2名、平均年齢56歳の若いクラブです。週報に登場する皆さんのカラー写真の笑顔が良いと思います。

年齢構成は、最年長85歳、最年少36歳で、80歳代1名、70歳代2名、60歳代8名、50歳代5名、40歳代4名、30歳代3名です。増強が必要なことは、クラブの皆様も思っている様子で、「新会員の候補者を周囲のロータリークラブに先取りされてしまう」という悩みを書いています。しかし、月1回は夜の例会にしたり、親睦活動に力を入れているので、間もなく成果が得られると思います。

私は、7月27日月曜日に牧田静二直前ガバナーの在籍される静岡ロータリークラブを最初の公式訪問先として伺いまして増強の話をしました。それ以来全てのクラブで、増強の必要性を話題の中心にしました。そして、現在のロータリーにとって、増強は基本であり、最も重要な奉仕活動であると主張しました。クラブに新人を迎え入れることは大きな親切であり、奉仕活動なのだと言明しました。入会してほしいとお願いするというよりは、入会すると素晴らしい世界が待っていると話してほしいのです。

新しい会員の候補者としてどのような人を探すかについて、青年会議所や商工会議所の卒業者を皆が求めているけれど、地域の学校のPTAにも有能な人がいっぱい居て、毎年卒業者が居ることに着目してほしいと思います。私がこの提案をしますと、訪問先のクラブの会長さん、幹事さんから、増強はもっと多彩で、効果の良い方法がいろいろあると教えてもらいました。定年退職して家業に入った人、新しい仕事を始めた人は、大切な人材であり、長寿社会の大切な職業人だから、ロータリアンになって健康で長生きしてもらいたい。この事に関係ないといったクラブは有りませんでした。このほか、親子増強、拡大例会、外部卓話者は大切な新会員候補者など、沢山の知恵と工夫を紹介してもらうことができました。

7月26日の甲府での会員増強維持セミナーでも、女性会員から単に数合わせのための増強は歓迎できないとの発言がありました。確かにその通りで、私も大変心強く思いました。2620地区には現在2人の女性会長が活躍中です。以前女性会長が就任した記録のあるクラブもいくつかあります。女性幹事は現在4人です。女性の理事、委員長は珍しくなくなりました。今、2620地区では半数を超えるクラブで女性会員が在籍し、活動しています。

私のクラブは18年前に甲府市に現存する5つのクラブの有志達が、夜間例会と女性会員の受け入れを特色とする新しいロータリークラブを創立する、としてスタートしました。最初から7人の女性会員を確保しました。その後若干の増減はありましたが、現在も女性会員の数は7人です。女性の会長経験者は3人、幹事経験者が1人で、幹事エレクトが1人、皆さん活発に活動しております。

又、三島ロータリークラブにも7人の女性会員がいて、2人の理事、委員長、会計、副幹事を分担してクラブの運営に直接参加していました。

パワー浜松にも直前の会長を含む7人の女性会員がいて、活発に活動していました。今や女性会員が活躍するクラブは珍しくない状況になってきました。ご参考までに、初めて女性会員を受け入れる時には、2~3人一挙に入会してもらうと定着率が高いこと、女性会員が紹介した女性会員の定着率が高いことも申し添えておきます。又、男性でも若い会員を迎え入れるときは数人一緒だと定着しやすい事もよく話しに出ます。

釈迦に説法ですが、私達ロータリアンにとって会員増強は職業奉仕の大切なひとつの手法です。先輩のお言葉の中に『ロータリークラブは世評の良い社会人で、職業活動を立派に行っている人達の集まりだから、入会することによって、自分もその人達の仲間に入ることが出来る。ロータリークラブに入会することは宝の山に入ることなのだ。』と言う平易な言葉ながら強く胸を打つものがあります。